

### 3 自分たちにできることを考えてみましょう！

「いじめ防止子どもサミットNAGANO」や「全国いじめ問題子供サミット」の様子を紹介しました。みなさんが自分たちの学校の活動を向上させるためのヒントは見つかりましたか？

- (1) まずは自分の考えをまとめてみよう  
「自分が感じている学校の良いところ、直したいところをまとめてみよう」
- (2) 仲間（児童会・生徒会）と話し合ってみよう  
「自分たちの学校の課題は何か。そのために何をしたらいいのか。何ができそうか」
- (3) 実現に向けて計画しよう  
「先生と相談して、目的や活動を具体的にしてみよう」  
(いつ頃、人数は、学年は、場所は、事前にしておくことは、例：全校アンケートなど)
- (4) 実際に行動しよう  
「計画をもとに、実際に行動してみよう」
- (5) 発表してみよう、話し合ってみよう  
「行動したことを発表したり、考えたことをグループに分かれて話し合ってみよう」



### 4 参考にしてみよう

Youtube チャンネル 「全国いじめ問題子供サミット」	文部科学省公式 Youtube チャンネル「MEXTchannel」で公開予定 ( <a href="https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbDxydiCiWcMf3SdjkLz6iA8">https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbDxydiCiWcMf3SdjkLz6iA8</a> )
教材用番組 「いじめをノックアウト」 E テレ毎週金曜日 午前 9:50 ~ 10:00	高橋みなみさんと一緒にいじめについて考える 10 分番組 ( <a href="http://www.nhk.or.jp/tokkatsu/ijimezero/">http://www.nhk.or.jp/tokkatsu/ijimezero/</a> )
参加型企画 「マダ友プロジェクト」 ～未来の友だちとの手紙～	学校参加型いじめ自殺予防プログラム 「マダ友」とは、まだ出会っていない未来の友だちのこと。そのマダ友へ NHK を通じて、悩みなどの手紙を書いたり、逆に返事を書いたりします。 授業や学活で取り組んでいる学校もあります。書いた後、お互いに共有することで SOS を受けとめられる雰囲気づくりの効果が高まります。 ※申込は、サイト「ハナシティ」から → <a href="http://nhk.jp/ijimezero">http://nhk.jp/ijimezero</a>

このリーフレットは、長野県教育委員会のホームページからダウンロードできます  
県教育委員会 HP > 学校教育 > 生徒指導 > 指導資料 >  
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/shido/index.html>

長野県教育委員会事務局心の支援課  
〒380-8570 長野市大字南長野字幅下 692- 2  
電話 026-235-7450  
FAX 026-235-7484

## 「いじめに対して私たちにできることは何か？」 考えてみましょう！

(児童会・生徒会のみなさんへ)

このリーフレットは、小・中学生が「いじめ」を自分たちの問題として主体的に捉え、「私たちにできることは何か？」を考え、行動していくきっかけとなることを目的に作成しました。

### 1 「いじめ防止子どもサミットNAGANO」の取組から

テーマ

「『いじめに対して私たちにできることは何か？』いじめに真正面から向き合います！」

2019年11月16日(土) 開催 会場 県立図書館「信州・学び創造ラボ」

(1) サミットに参加した学校では、このような取組をしています

児童会・生徒会を中心とした取組を行っている学校として、千曲市立五加小学校と、佐久市立望月中学校の2校を紹介します。

#### ア 千曲市立五加小学校

児童会スローガンである「笑顔あふれる五加小学校」を目指し、3つの活動を児童会中心に行っています。「優しい一言」活動では、「ありがとう」、「大丈夫だよ」など、相手が安心する言葉を心がけました。

これらの活動を行うことで、誰にでも優しく接し、相手を大切にすることが強くなりました。



#### イ 佐久市立望月中学校

○毎月「励ます言葉」をポスターにして、全校へ発信  
○「学校生活についてのアンケート」実施

- ・生徒自身が問題を把握し、解決の糸口を見つける
- ・生徒による相談

○文化祭で、いじめに関わる発表  
これらの活動を通して、仲間を大切にし、いじめをなくす意識が高まりました。

望月中学校生徒会  
「いじめ対策委員会」  
の活動について  
「望月中学校生徒会 人権宣言」  
「望月中学校 いじめ追放宣言」

みなさんの学校では、いじめ防止に向けてどのような活動をしていますか？  
「いじめ防止子どもサミットNAGANO」に参加した学校の取組などを参考に、児童会・生徒会が中心となって、いじめ防止に向けて主体的に取り組ましましょう。

※参加した学校の取組については、長野県教育委員会のHPで見ることができます。

県教育委員会HP > 学校教育 > 生徒指導 > 指導資料  
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/shido/index.html>

【参加校】

- ・南牧村立南牧南小学校
- ・上田市立北小学校
- ・諏訪市立四賀小学校
- ・千曲市立五加小学校
- ・長野市立豊栄小学校
- ・佐久市立望月中学校
- ・上田市立第三中学校
- ・高山村立高山中学校
- ・中野市立高社中学校
- ・長野市立篠ノ井西中学校

## (2) テーマ別にグループディスカッションを行いました

参加したみなさんがグループに分かれ、他校の取組などを聞きながら、いじめ防止に向けて何ができるかグループディスカッションを行いました。(〇はグループでまとめた意見)



グループディスカッションの様子

### 「どうすれば『小さな差別』に気付くことができるか」

- 〇差別に大きいも小さいもない。
- 〇友だち同士で、上下関係をつくらない。
- 〇友だちの良いところを意識するようにして、お互いに尊敬しあうようにする。

### 「いじめを減らすために私たちにどのようなことができるか」

- 〇一人で抱え込まない。友だちや先生に相談してみる。
- 〇「ありがとう」が自然と言える雰囲気をつくる。
- 〇優しい言葉づかいを心がける。

### 「クラスでいじめが起きてしまったとき、私にできることは何か」

- 〇いじめられている人へのケア。(話を聞き、居場所をつくる。)
- 〇いじめている人へのケア。(話を聞きながら、繰り返さないようにする。)

### 「誰にとっても居心地のよい学校・クラスになるためには何が大切なのか」

- 〇みんなが、友だちのことを考えられるように意識する。
- 〇友だちの良いところを見つけようとする。
- 〇みんなで積極的にあいさつを交わす。
- 〇うれしいことは、「ありがとう」など感謝の言葉を伝える。

### 「いじめ防止への具体的な取組」

- 〇みんなで目標を決め、活動を通して目指す姿に近づけるようにしていく。
- 〇一人ひとりが、みんなの事を考えて活動する。
- 〇みんなが「一つになった!」と感じることで、もっと友だちを大切にできるようになる。

### 「いじめが起こるのはなぜだろう」(いじめる側の人、どのような気持ちから行動に至ってしまうのか)

- 〇友だちの欠点ばかり見てしまうことがある。だから逆に、良いところを意識して見ようとする。
- 〇「違って当たり前」と思って、自分と違うところを受け入れる。

### <参加した児童・生徒のみなさんは、このような感想を持ちました>

- ・いじめに関して、こんなに深く考えたことはありませんでした。
- ・他の人の考えに触れ、自分の考えの幅が広がりました。
- ・他校の取組を聞いて、自分たちにもまだまだできることがあると思いました。
- ・参考になったことを、これからの自分たちの活動に役立てていきたいと思いました。

グループディスカッションを行うことで、一人ひとりがいじめに対して真剣に考えるようになります。そうすることで、みんながいじめを許さない気持ちを持つようになるのではないのでしょうか。みなさんの学校でもテーマを決めて、グループディスカッションをしてみませんか。



## 2 「全国いじめ問題子供サミット」参加校にインタビュー

### テーマ

### 「私たちが考える令和時代のいじめ対策」

2020年1月25日(土)開催 会場 文部科学省講堂

- 〇全国の小・中学生が集まり、各学校・地域でのいじめ防止の取組を発表し、サミットテーマについてグループで話し合うことで、考えを深めました。
- 〇長野県代表として、長野市立篠ノ井西中学校が参加しました。どのような様子だったかインタビューしてみました。

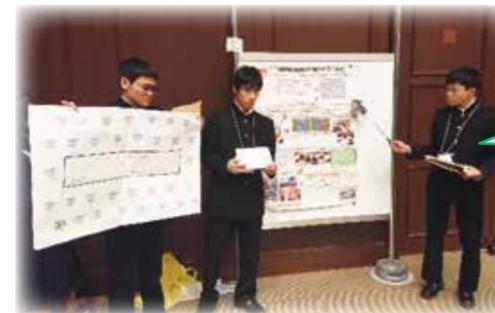


Aさん、全国サミットに参加してどのような感想を持ちましたか？

全国各地の小・中学生が集まり、いろいろな人たちといじめについて意見を交わすという貴重な経験をする事ができました。全国サミットで学んだことを活かして、全校でいじめと真剣に向き合い、一人ひとりの意識を変えていきたいと思いました。



Bさんは、ポスターセッションでの発表や、他校の発表を聞いて、どのような感想を持ちましたか？



ポスターセッションの様子

緊張したけど、自分の学校の取組を精一杯発表できました。他校の発表は、自分の学校では行っていない取組がたくさんありました。特に、地域と関わる取組が多く、自分の学校でも、地域と協力してできる取組を増やしていきたいと思いました。



Cさんは、グループ協議を行って、どのように感じましたか？

他校の人の意見は、私が思いつかないようなものばかりで、とても勉強になりました。私たちのグループでは、「このようなディスカッションを、学生だけでなく、先生や保護者、世代や国を超えて、いろいろな人と行えば、いじめへの意識も変わる」という意見にまとめ、とても共感できました。まずは、全校生徒や先生方と、学校全体で、本音で話し合える討論の場をつくっていききたいと感じました。



グループ協議の様子

篠ノ井西中学校の皆さんは、全国サミットでも堂々と発表していました。多くの考えに触れることで、新たなアイデアも出てきたようです。